



白川郷学園
教育相談だより No.6
令和7年11月28日

5年生児童 スクールカウンセラーによる「こころの授業」を行いました。

内容:「他人と違う意見を言おう～合意形成～」



11月21日(金)に、スクールカウンセラーに「こころの授業」をしていただきました。それぞれの考え方の違いを認め合い、自分らしさを大切にすることがねらいです。

授業では、担任の先生が“海賊”になって登場! 「船が難破して文房具だけが残りました。海賊が“宝物を出せ!”と言っています。あなたなら、どの文房具を宝物として出しますか?」という問い合わせで授業がスタート!



船が難破して文房具だけが残った。



子どもたちは、「有名な〇〇も使っていた!」「海賊の好きな〇〇がある!」など、たくさんのアイデアを出し、海賊に宝物を受け取ってもらえるように必死にPRをしていました!

子どもたちが海賊に渡した“宝物”

“カラーペン”→たくさんの色がある。船を水色に塗って海と同化させることで、敵が分からないようにする。
“クリップ”→キーピックができる、宝箱を開けることができる。
“えんぴつ”→長持ちする。地図や絵、文字を書ける。



宝物としてなかなか受け取ってくれない…。
みんなあきらめないで!

海賊は宝物として、受け取ってくれるのか…?



“文房具の中で、何を宝物として海賊に渡すか”を始めに個人で考え、その後グループで話し合い、1つの意見を選びました。仲間の考えをよく聞き、「その発想面白いね」「自分とは違うけど、この考えいいね!」と認め合う姿が印象的でした。最後には、「自分の考えを話すのが楽しかった」「みんなの意見を聞いて納得した」などの感想がありました。お互いの良さを感じ合う温かい時間となりました。